

CAR No.34&35

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 9/2



スーパーFJ 富士シリーズ 第 5 戦

9月1日(土)予選 9月2日(日)決勝

富士スピードウェイ

1 LAP=4.563km 決勝：12LAPS

天候：雨のち曇り コース：ウェット

気温：26℃ 湿度：48% 路温：30℃

ドライバー：深村 匠 (アルビ RTGIA ミスト KKS #34)

神村悠太 (アルビ RTGIA ビヨンド EDKKS #35)

予選結果：深村選手 6位 神村選手 8位

決勝結果：深村選手 7位 神村選手 8位

■9月1日(土) 予選

前日の練習走行から天候が不安定で、路面はーフウェットとドライの中間といった状況。ドライタイヤで予選に臨もうとしていたが、開始前に小雨が降り始め、予選開始 5 分前に 2 台ともレインタイヤに変更。ピットロードに並び、午前 10 時に予選開始となる。

予選開始後、神村選手が 3 周目にベスト、深村選手も 4 周目にベストをマークするも、徐々に雨足が強くなるにつれて路面も完全なウェット状態へと変化していき、全体的にペースが落ちていく。そのまま予選終了となり、深村選手が 6 番グリッド、神村選手が 8 番グリッドで決勝レースを迎える。

■9月2日(日) 決勝

前日の予選から雨はあがって天候はくもり。路面もーフウェットとウェットの中間ぐらいといった状況の中、2 台ともレインタイヤを装着し 10 時 49 分決勝レーススタート。

スタート直後、深村選手が前車のミスをつき 1 コーナーでかわすが、その間に後続車に 1 台パスされたため順位は変わらず 6 番手を走行。その後、パスした 7 番手車両の激しいプレッシャーを抑え込んで周回を重ねていくが、5 周目のホームストレートでスリップストリ

ームに入れ、1コーナーでインを刺されて順位をひとつ落としてしまう。

その後は路面も乾き始めていくが、2台とも前方車両と徐々に離されていき、上位との差を詰めることはできずにそのままフィニッシュとなった。

○深村選手コメント

とにかく悔しいです。すべて自分の実力不足によるものだと思います。次週は茂木のレースに出るので、富士以外のコースでレースをすることでドライバーとしての経験を積み、引き出しを増やしていけたらと思います。

○神村選手コメント

今回はリタイヤせずに完走する事ができたのですが、結果には満足できません。もっと技術を磨いてレース中にバトルができるように練習していきたいです。

○中村監督コメント

レースウィークを通じて、天候に翻弄される難しいコンディションでのレースでしたが、ドライバーにとってもいい経験ができたと思います。技術面に加え、精神面でも課題はたくさんあるのでひとつひとつクリアして良い結果に結び付けられるよう努力して参ります。





P PLUS  Nankai Plan Co.,Ltd.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tknf.com/sds>

MID Japan Inc.
Mitsui Impress Development



・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター ・ 東栄ボディー